

トラスコ中山の純現金収支

前期、5年ぶり黒字

機械工具卸のトラスコセンターの建て替えや増築などにキャッシュを充ててきたが、投資が一巡。20年12月期は、投資キャッシュが197億円の赤字、投資キャッシュが197億円の赤字だった。物流センターを建て替えるなどしたほか、自動倉庫といった設備にも投資した。

20年12月期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、営業CFは前の期より減少したもようだが、物流センターなどに対する投資額の減少幅が大きく、FCFは黒字を確保したとみられる。

同社は20年12月期の連結売上高が前の期比4%減の2119億円、純利益が18%減の78億円になるとの予想を発表している。

中山の2020年12月期のフリーキャッシュフロー(純現金収支、FCF)は、50億円強の黒字になったもようだ。会計基準の変更で単純比較は難しいが5年ぶりの黒字となる。19年12月期まで物流

トラスコ中山のFCF

備にも投資した。